

アレルギー医療機関検索システムに関するログ解析調査結果

1 目的

アレルギー疾患患者等の治療ニーズや県内の地域性を把握し、今後のアレルギー疾患医療の正しい知識の普及及び情報の提供に繋げる。

また、より多くのアクセスを見込めるよう、サイトの改善等を検討するための基礎資料とする。
(サイト画面は別紙参照)

2 調査の概要

(1) サイト及び対象ログ

サイト名: 埼玉県アレルギー疾患医療拠点病院 [医療機関検索]

U R L: <http://allergy.saitama-med.ac.jp/search.html>

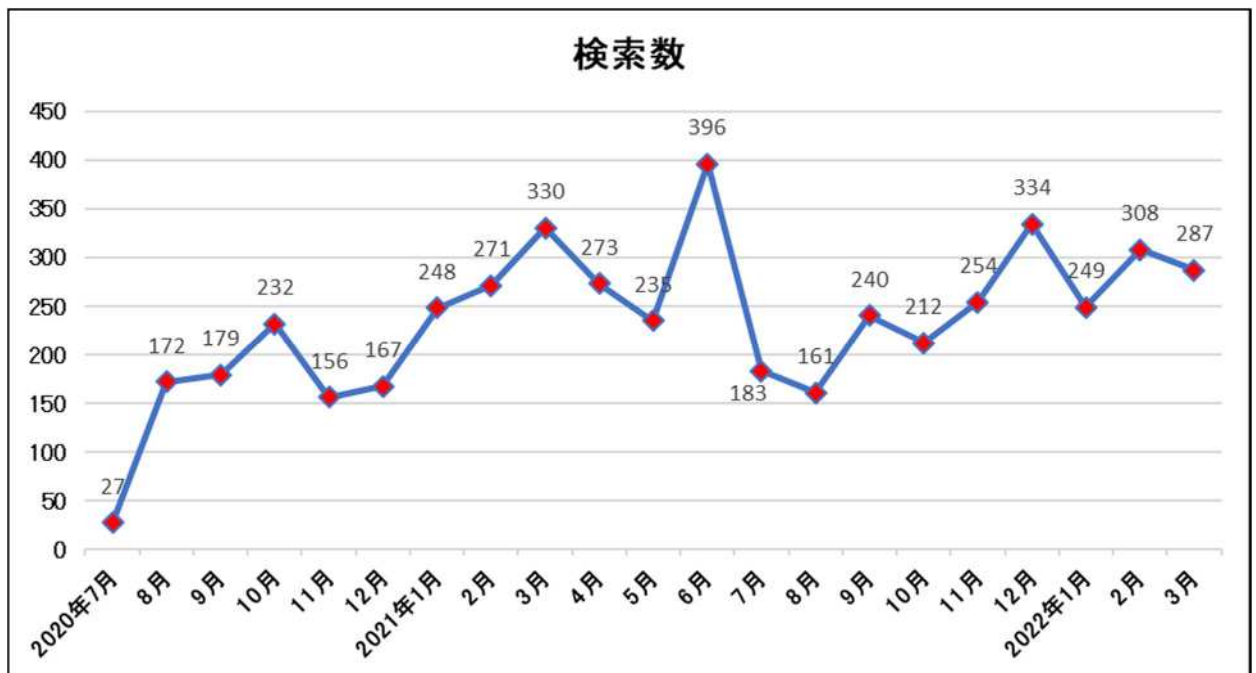
ログ: 「食物アレルギー」及び「ぜんそく」について検索ボタンを押下した時点の絞り込み履歴を対象とする。

(2) 調査期間 令和2年7月28日～令和4年3月31日(約1年8か月間)

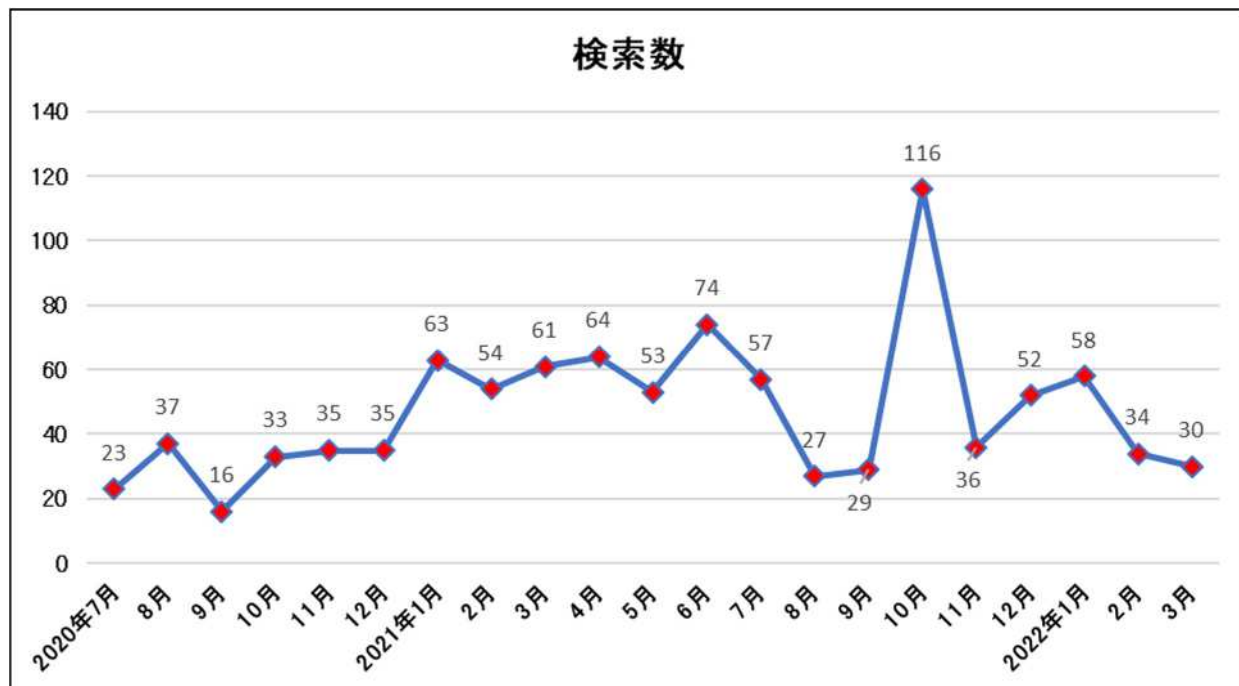
3 結果

(1) 検索数の推移

① 食物アレルギー

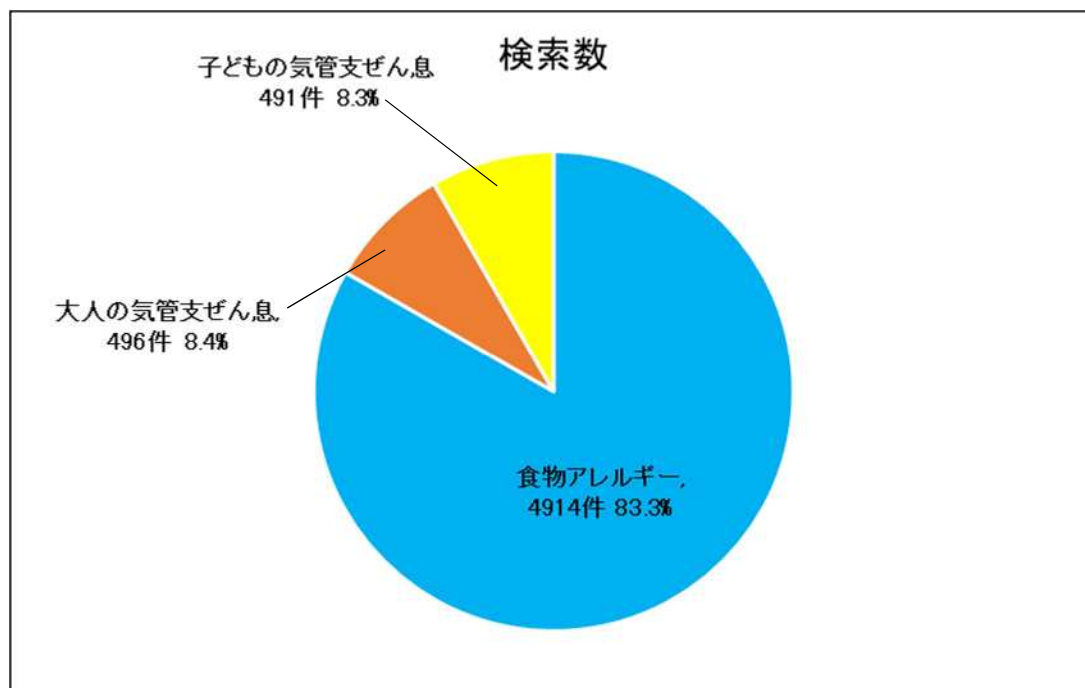


②気管支ぜん息



(2)総検索数

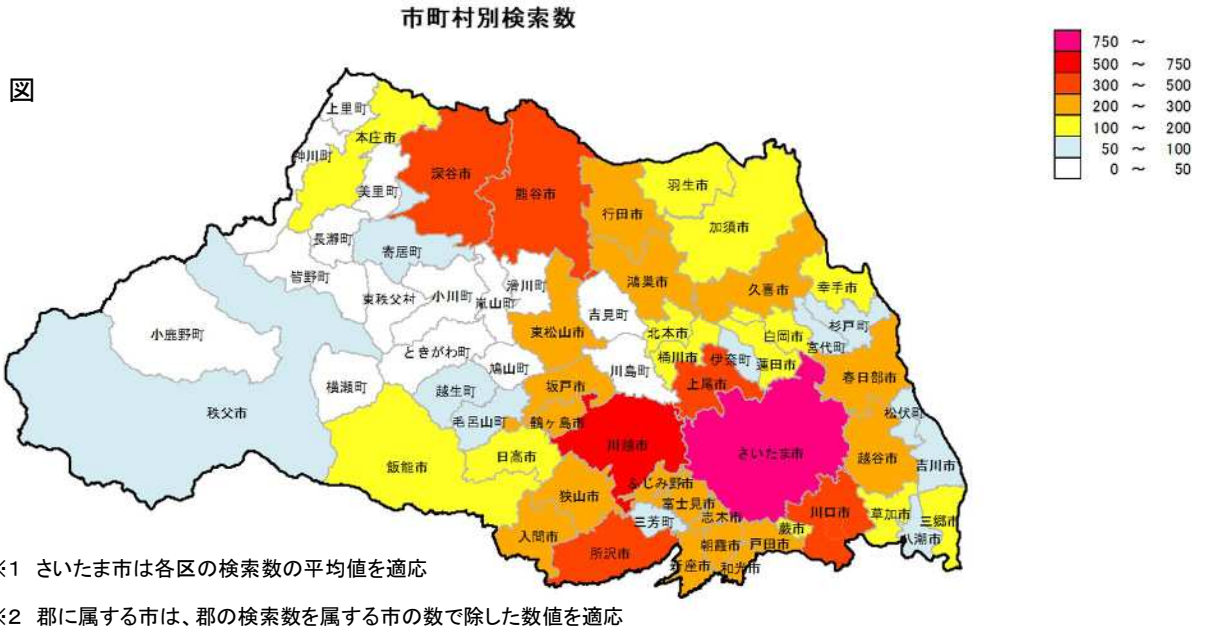
対象の総検索数は5901件で、そのうち「食物アレルギー」の割合は83.3%、「大人の気管支ぜん息」の割合は8.4%、「子どもの気管支ぜん息」の割合は8.3%であった。



(3) 市町村別検索数

下記のグラフは市町村に☑を入れて検索した回数をマップグラフ化したもの。

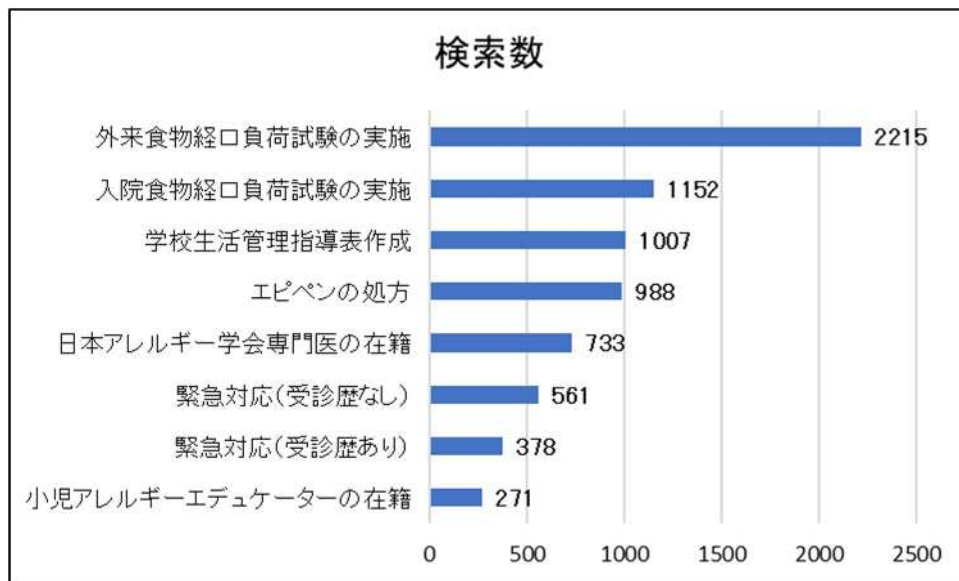
検索数が最も多かったのはさいたま市で867件、次に川越市の546件、3番目が熊谷市の388件と続く。



(4) 各種項目の検索数

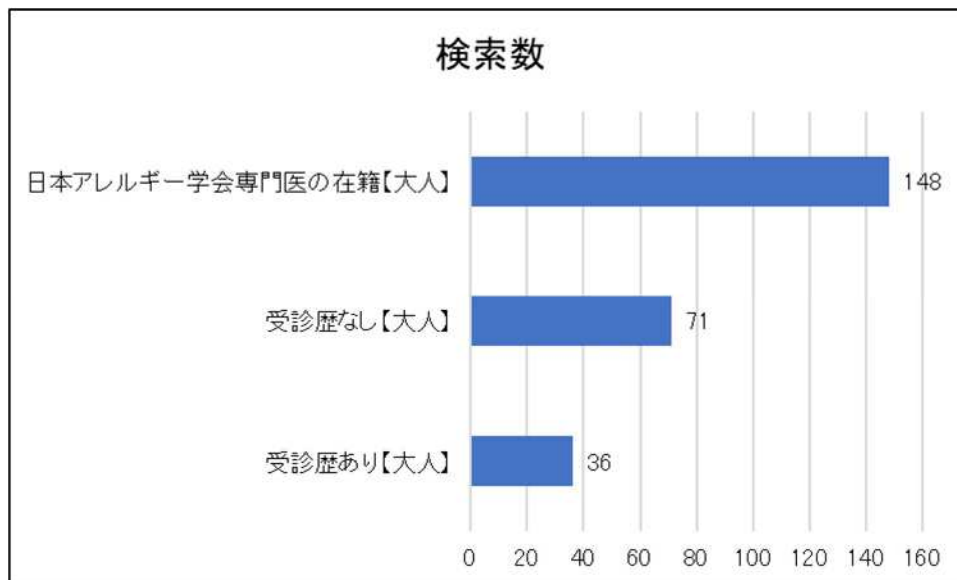
① 食物アレルギー

食物アレルギーの総検索数は4,914件で、そのうち外来食物経口負荷試験の実施に☑を入れて検索したのは2,215件(45, 1%)。入院食物経口負荷試験の実施に☑を入れて検索したのは1,152件(23, 4%)。生活管理指導表作成に☑を入れて検索したのは1007件(20, 5%)。エピペンの処方に☑を入れて検索したのは988件(20, 1%)であった。



②大人の気管支ぜん息

大人の気管支ぜん息の総検索数は496件で、そのうち日本アレルギー学会専門医の在籍に☑を入れて検索したのは148件(29. 8%)であった



③子どもの気管支ぜん息

子どもの気管支ぜん息の総検索数は491件で、そのうち日本アレルギー学会専門医の在籍に☑を入れて検索したのは42件(8. 6%)であった。

